

2025年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2025年 7月 1日（火）15時30分

目次

議題1. 新支部長の互選及び理事・幹事の補充	2
議題2. 事業等の担当役員の選任	2
議題3. 2024 年度事業報告	2
(1) 東北支部理事会の開催	2
(2) 東北支部だより発行	3
(3) 東北支部気象講演会	3
(4) 東北支部気象研究会	3
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）	4
(6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦	5
議題4. 2024 年度会計報告	6
議題5. 2024 年度会計監査報告	7
議題6. 2025 年度事業計画案	8
(1) 東北支部理事会の開催	8
(2) 東北支部だより発行	8
(3) 東北支部気象講演会	8
(4) 東北支部気象研究会	9
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）	9
(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦	9
議題7. 2025 年度予算案	10
議題8. 検討事項	11
(1) 支部事務局雑務の業者委託について	11
(2) 2031 年度の秋季学会について	11
議題9. その他（事務局から）	13
(1) 東北支部会員数（個人会員）	13
(2) 旅費等について	13
資 料	
日本気象学会東北支部第 34 期 2025 年度役員名簿（案）	14
日本気象学会東北支部規則	15
日本気象学会東北支部細則	17

議題1. 新支部長の互選及び理事・幹事の補充

人事異動等により支部長及び理事2名、幹事2名が欠員。

「支部規則」第10条に基づき、新支部長を互選により定める。また、「支部規則」第9条及び「支部細則」1.12項の規定に基づき、新理事を推薦によって補充する。事務局（案）は以下のとおり。

- ・支部長 仙台管区气象台長 加藤 孝志 氏 の後任として、
仙台管区气象台長 鎌谷 紀子 氏 を推薦する。
- ・理事 仙台管区气象台気象防災部長 塚本 尚樹 氏 の後任として、
仙台管区气象台気象防災部長 岩村 公太 氏 を推薦する。
- ・理事 山形地方气象台長 有賀 孝幸 氏 の後任として、
福島地方气象台長 平野 喜芳 氏 を推薦する。

「支部規則」第13条に基づき、幹事2名を以下のとおり交代した。

- ・幹事 仙台管区气象台気象防災部地域防災推進課 蒔苗 仁 氏 の後任として、
仙台管区气象台気象防災部地域防災推進課 丹野 咲里 氏。
- ・幹事 仙台管区气象台気象防災部地域防災推進課 中川 憲一 氏 の後任として、
仙台管区气象台気象防災部予報課 間野 正美 氏。

なお、次の会計監査・幹事は所属・職位の変更がある。

- ・会計監査 武田 新一 氏 (旧) 仙台管区气象台気象防災部予報課技術専門官
(新) 福島地方气象台技術専門官
- ・幹事 岩渕 弘信 氏 (旧) 東北大学大学院理学研究科准教授
(新) 東北大学大学院理学研究科教授

議題2. 事業等の担当役員の選任

事務局(案)は次のとおり

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ① 支部気象講演会
(2025年度福島開催) | 山崎理事
○平野理事 |
| ② 支部気象研究会 | 橋本理事 |
| ③ 東北支部だより | 森本理事 |
| ④ 日本気象予報士会東北支部と連携した活動 | 岡前理事 |
| ⑤ 支部事務局 | 橋本理事 |
| ⑥ 会計監査 | 武田会計監査 |

○印は新任

- ・東北支部第34期役員の任期は2025年度まで。

議題3. 2024 年度事業報告

(1) 東北支部理事会の開催

- ・第1回 (対面とオンラインのハイブリッド開催 2024年 6月25日)
- ・第2回 (オンライン開催 2025年 3月 4日)

- ・臨時理事会（書面開催 2024年 8月21日～ 9月20日）
- ・臨時理事会（書面開催 2024年12月12日～12月26日）

（２）東北支部だより発行

■第99号（2024年 9月発行）

- ・ 支部長就任あいさつ
- ・ TOPIC 一筋縄ではいかない？全球雲解像気候モデリングの現状と今後：高須賀大輔（東北大学）
- ・ 2023年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2024年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部第34期役員選挙結果について（投票結果の公示）
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 第12回気象サイエンスカフェ東北の開催について
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・ 事務局からのお知らせ

■第100号（2025年3月発行）

- ・ TOPIC 気象レーダーによる精度の高い雨量推定を目指して：塚本 尚樹（仙台管区気象台気象防災部長）
- ・ 報告1 2024年度日本気象学会東北支部気象研究会：日本気象学会東北支部事務局
- ・ 報告2 2024年度日本気象学会東北支部気象講演会：山形地方気象台
- ・ 報告3 第12回気象サイエンスカフェ東北の開催報告：日本気象予報士会東北支部長 岡前 憲秀
- ・ 2024年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 事務局からのお知らせ

（３）東北支部気象講演会

日 時：2024年11月 2日（土）13時30分～16時00分

会 場：山形県生涯学習センター「遊学館」

テーマ：「極端化・頻発化する山形県の豪雨と防災対策・避難行動 ～令和 6年7月25日の実例から～」

講演者：熊谷 誠氏（国立大学法人山形大学地域教育文化学部講師）

栃本 英伍氏（気象庁気象研究所台風・災害気象研究部第二研究室研究官）

参加者：会場参加 約70名

主 催：日本気象学会東北支部

共 催：山形地方気象台

後 援：山形河川国道事務所・山形県・山形市・山形大学・日本気象協会東北支社・日本気象予報士会東北支部・地球ウォッチャーズ-気象友の会-

（４）東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日 時：2024 年 12 月 2 日（月）

会 場：仙台第 3 合同庁舎 2 階大会議室

講 演：14 題

参加者：33 名（会場参加者のみ計上・Zoom によるオンライン配信も実施）

気象研究会の発表演題・著者（敬称略、発表者に○）

（なお、紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略）

- ・日本域長期領域再解析（RRJ-Conv）における線状降水帯の特徴
○島村優作、伊藤純至（東北大学理学研究科）、福井真、廣川康隆（気象研究所）
- ・MEPS クラスタリングとベイズ推定に基づく最適シナリオ選択のための台風統計調査
○山口純平（仙台管区気象台予報課）
- ・SCALE-LES を利用した MYNN モデルの経験的パラメータや関数形の検討
○尾前亮太郎、伊藤純至（東北大学理学研究科）
- ・ひろだい白神レーダーの観測データを用いた津軽地域の雪雲モードの解析
○多田直起（弘前大学大学院理工学研究科）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、池森凜（一般財団法人日本気象協会）
- ・広域（一次細分区域）を対象とした深層学習による濃霧画像の判定モデル開発
○間野正美（仙台管区気象台）
- ・岩手県の西風暴風 WS 改良に向けた検討 ― 暴風発現時の特徴 ―
○山川大希、横田紘弥（盛岡地方気象台）
- ・おろし風レジーム図を応用した八戸暴風予測アプリの開発
○菅原海大（青森地方気象台）
- ・JMA/NHM を用いた 2023 年 7 月 14 日から 16 日にかけての秋田県の大雨のシミュレーション
○熊谷真琴（弘前大学理工学部）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）
- ・弘前における降水と水蒸気の安定同位体比変動 ― 爆弾低気圧に伴う降水の水蒸気源解析 ―
○谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、上野優（日本気象協会）、芳村圭（東京大学生産技術研究所）、Hayoung Bong（NASA/GISS）、川代迅（日本気象協会）、前田未央（弘前大学大学院理工学研究科）、Yang Yan（東京大学生産技術研究所）、大堀楓河（弘前大学理工学部）

日本気象学会東北支部発表賞の受賞者 2 名は以下の通り。

- ・島村優作（東北大学理学研究科）、菅原海大（青森地方気象台）

（５）日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

日 時：令和 6 年 12 月 21 日（土）13 時 00 分～15 時 30 分

会 場：仙台管区気象台（仙台第 3 合同庁舎）

テーマ：線状降水帯を知る、シミュレーションにトライする

話題提供者：伊藤 純至氏（東北大学大学院理学研究科准教授）

見学会：仙台管区気象台の観測露場・現業室

参加者：25名

共 催：日本気象学会東北支部、日本気象予報士会東北支部、東北大学理学研究科気象学・大気力学分野、仙台管区気象台

後 援：日本気象協会東北支社、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

（6）日本気象学会小倉奨励賞の推薦

なし

議題 4. 2024年度会計報告

[支部一般会計] (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日) (マイナスの金額には、△印を付した。)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金			
一般交付金(仮名)	528,800 円	528,800 円	0 円
普及啓発活動への助成	40,000 円	40,000 円	0 円
減額分	△68,800 円	△68,800 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	10,000 円	10,000 円	0 円
前期繰越金	125,649 円	125,649 円	0 円
事業収入 (広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	5 円	77 円	△72 円
事業活動収入計 ⁽¹⁾	635,654 円	635,726 円	△72 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	180,000 円	73,820 円	106,180 円
支部気象研究会	50,000 円	60,170 円	△10,170 円
支部だより	200,000 円	240,856 円	△40,856 円
気象サイエンスカフェ東北	60,000 円	105,860 円	△45,860 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	50,000 円	26,350 円	23,650 円
支部役員選挙	30,000 円	25,248 円	4,752 円
事務費	10,000 円	16,824 円	△6,824 円
事業活動支出計 ⁽²⁾	595,000 円	564,128 円	30,872 円
III 予備費支出			
予備費支出	40,654 円	0 円	40,654 円
予備費支出計 ⁽³⁾	40,654 円	0 円	40,654 円
当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	71,598 円	
次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)	0 円	71,598 円	

議題5. 2024 年度会計監査報告

2024 年度決算について、預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2025 年 6 月 18 日

日本気象学会東北支部会計監査

武田新一 

議題 6. 2025 年度事業計画案

(1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年3回（5～6月、12月頃、2～3月頃予定）開催している（2024年度第2回理事会で支部発表賞に関する臨時理事会（12月頃・例年書面開催）を定例の理事会とすることに決定）。
- ・議論が必要な場合は、適宜、臨時理事会を開催する。

(2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第101号、102号)の予定。
- ・2024年度第2回理事会の議題4(2)の決定により、2025年度以降、PDF作成まで業者へ依頼し、印刷は行わないこととする。

(3) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定
会 場：未定
テーマ：未定

- ・2025年度は福島県で開催予定。今後準備を進めていく。

2016年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2016 年度	盛岡市	山本 浩之 (盛岡地方気象台)	名越 利幸 (岩手大学)	
2017 年度	秋田市	和田 幸一郎 (秋田地方気象台)	本谷 研 (秋田大学)	
2018 年度	山形市	小杉 健二 (新庄雪氷実験所)	川瀬 宏明 (気象研究所)	
2019 年度	弘前市	加藤 輝之 (気象大学校)	木所 英昭 (東北区水産研究所)	
2020 年度	仙台市 (web 開催)	岩井 弘樹 (仙台管区気象台)	早坂 忠裕 (東北大学)	
2021 年度	福島市 (web 開催とのハイブリッド)	小野寺 晃一 (福島地方気象台)	安達 義輝 (福島県農業総合センター)	吉田 龍平 (福島大学)
2022 年度	盛岡市 (web 開催とのハイブリッド)	ト部 佑介 (仙台管区気象台)	晴山 久美子 (岩手県)	
2023 年度	秋田市	増本 隆夫 (秋田県立大学)	廣川 康隆 (気象研究所)	
2024 年度	山形市	熊谷 誠 (山形大学)	栃本 英伍 (気象研究所)	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。開催地を変

更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

（４）東北支部気象研究会

- ・2025 年度の開催について、仙台管区気象台地域防災推進課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

（５）日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第13回気象サイエンスカフェ東北を開催する。開催場所は仙台近郊を想定しているが、テーマや講師等を含めて、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

（６）日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

議題 7. 2025 年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2025 年度 予算額	2024 年度 予算額	予算増減額 [2025 年—2024 年]	2024 年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
* ² 本部交付金				
一般交付金(仮名)	* ¹ 510,000 円	528,800 円	△18,800 円	528,800 円
普及啓発活動への助成	40,000 円	40,000 円	0 円	40,000 円
減額分	0 円	△68,800 円	68,800 円	△68,800 円
気象予報士会東北支部分担金	* ³ 10,000 円	10,000 円	0 円	10,000 円
前期繰越金	71,598 円	125,649 円	△54,051 円	125,649 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円	0 円
雑収入				
預金利息	168 円	5 円	163 円	77 円
事業活動収入計(1)	631,766 円	635,654 円	△3,888 円	635,726 円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	90,000 円	180,000 円	△90,000 円	73,820 円
支部気象研究会	50,000 円	50,000 円	0 円	60,170 円
支部だより	100,000 円	200,000 円	△100,000 円	240,856 円
気象サイエンスカフェ東北	70,000 円	60,000 円	10,000 円	105,860 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円	15,000 円
支部事務局業務委託費	200,000 円	0 円	200,000 円	0 円
管理費支出				
支部理事会	50,000 円	50,000 円	0 円	26,350 円
支部役員選挙	0 円	30,000 円	△30,000 円	25,248 円
事務費	5,000 円	10,000 円	△5,000 円	16,824 円
事業活動支出計(2)	580,000 円	595,000 円	△15,000 円	564,128 円
III 予備費支出				
予備費支出	51,766 円	40,654 円	11,021 円	0 円
予備費支出計(3)	51,766 円	40,654 円	11,021 円	0 円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	0 円	0 円	71,598 円

*¹一般交付金は、人頭割額(160,000円)と一律額(350,000円)の合計。

*²本部交付金は、一般交付金(510,000円)と普及啓発活動への助成金(40,000円)の合計。

*³2025年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

黄色塗りつぶし部分は、予算削減項目及びその影響部分を示したもの。

議題 8. 検討事項

(1) 支部事務局雑務の業者委託について

昨年度の理事会において、事務局雑務を業者に委託する方向性について合意が得られ、① 事務局雑務の業者見積りの取得、② 委託実現に向けた経費節減の推進、を進めることが決定された。現時点までの進捗を以下に報告する。

① 業者見積りにについて

- ・東北大学生協同組合に、例年の事務局雑務全般を対象とした見積りを依頼したところ、約 60 万円の見積り金額が提示された。他に、ハリウコミュニケーションズ株式会社・日本気象協会にも打診したが、折り合いがつかず、見積り金額の取得には至っていない。本部から東北支部への年間交付金は例年 50 万円台にとどまり、今後の大幅な増額（例：支部所属会員数の顕著な増加）も見込めないことから、雑務全般を業者委託することは困難と判断される。
- ・このため、事務局雑務の一部に絞って業者委託を行うことや、予算に近い報酬で委託可能な個人（気象庁 OB 等）へ委託することが可能か、事務局で検討を進めている。
- ・また、事務局雑務を本部にて一括して行うことや、その際に雑務の削減を図ることも考えられることから、今後、②の WG の動きを注視し、本部と必要なコミュニケーションを取っていく。

② 委託実現に向けた経費節減の推進について

- ・今年度、以下の 2 点の見直しにより、約 19 万円の経費節減が見込まれる。
- 1) 東北支部だよりの印刷を停止し、PDF 形式にて支部会員へ提供
- 2) 気象講演会におけるポスター・チラシ等の印刷物を廃止し、PDF 化に移行

なお、本部では、事務局業務の委託も含めた今後の学会運営の在り方について検討するため、今年度、学会運営の将来構想検討ワーキンググループ（WG）を設置するとのことである。支部としては、WG の活動に協力すると共に、WG の動きを注視しつつ、支部事務局における業務の委託の進め方を検討していく必要がある。

(2) 2031 年度の秋季学会について

2031 年度の秋季学会を東北支部が担当することが決定している。2023 年度の秋季学会の場合は、2015 年度に会場の仮予約を行っており、会場の確保は早めに行っておく必要がある。

① 大会会場の候補地について

実績等から、以下の 5 施設を候補として考えるが、他の施設も合わせて検討する。

- 1) 仙台国際センター（2023 年度秋季大会実施会場）
- 2) 東京エレクトロンホール宮城（旧：宮城県民会館）※2028 年度移転予定
- 3) 仙台市民会館
- 4) 仙台市戦災復興記念館
- 5) 東北大学

- ・候補 2)～4)については、単独で4会場以上の確保が困難であり、複数施設の組み合わせが必要となるため、主催者・参加者双方の利便性に課題がある。
- ・参考：2023年度秋季学会の場合、仙台国際センターについて、2015年度に10日間の仮予約、2019年度に設営日込みの5日間の予約を実施。

② 2031年度秋季学会の開催日程について

- ・2021年度以降の秋季学会は概ね10月下旬から11月中旬にかけて開催されており、例年の傾向や本部の意向を踏まえて日程の検討を行う必要がある。

2021年度：12月2日（木）～8日（水）・三重大学

2022年度：10月24日（月）～27日（木）・北海道大学

2023年度：10月23日（月）～26日（木）・仙台国際センター

2024年度：11月12日（火）～15日（金）・つくば国際会議場

2025年度（予定）：11月4日（火）～8日（土）・福岡国際会議場

なお、本年5月に大会実施形態の移行に関するWGにより2027年度から新しい大会運営に移行するという報告がなされていることから、今後、本部事務局と連絡をとりながら、2031年度の秋季大会開催に向けてスケジュールを組んでいく予定である。

議題9. その他（事務局から）

（1）東北支部会員数（個人会員）

2025年 6月16日現在

県名	会員数	2024 年 6 月 17 日時点
青森県	21 名	15 名
岩手県	10 名	11 名
秋田県	13 名	13 名
山形県	10 名	10 名
宮城県	75 名	74 名
福島県	27 名	26 名
合 計	156 名	149 名

7 名増

支部メーリングリスト登録者数

2025年 6月16日現在

県名	登録者数	2024 年 6 月 17 日時点
青森県	20 名	14 名
岩手県	8 名	9 名
秋田県	13 名	13 名
山形県	8 名	8 名
宮城県	74 名	73 名
福島県	24 名	22 名
合 計	147 名	139 名

8 名増

（2）旅費等について

交通費については、

青森は 22,900 円 [11,420 円×2]

弘前は 23,300 円 [11,640 円×2]

秋田は 21,000 円 [10,460 円×2]

盛岡は 13,600 円 [6,790 円×2]

山形は 2,400 円 [1,170 円×2]

福島は 2,700 円 [1,340 円×2]

仙台、岩沼は片道 500 円をお願いします。

※100 円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

日本気象学会東北支部第 34 期 2025 年度役員名簿（案）

2025 年 7 月 1 日現在

支部長	鎌谷 紀子	仙台管区気象台長
理事	岩村 公太	仙台管区気象台気象防災部長
	岡前 憲秀	日本気象予報士会東北支部長
	中野 裕	日本気象協会東北支社総務課長
	橋本 竜	仙台管区気象台気象防災部次長
	早坂 忠裕	東北大学大学院教授（理学研究科）
	平野 喜芳	福島地方気象台長
	森本 真司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
会計監査	武田 新一	福島地方気象台技術専門官
幹事	伊藤 純至	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩渕 弘信	東北大学大学院教授（理学研究科）
	丹野 咲里	仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課調査官
	間野 正美	仙台管区気象台気象防災部予報課予報官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正
令和 5. 7. 4	第 13 条を改正
令和 6. 6. 25	第 8、10、11 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（支部長 1 名含む）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
(1) 事業計画および収支決算
(2) その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。

付則

第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正
令和 1. 7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加
令和 6. 6. 25	1. 1、2、5、10 及び 2. 2 の項を改正

1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8 ～ 11 名選出する。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上